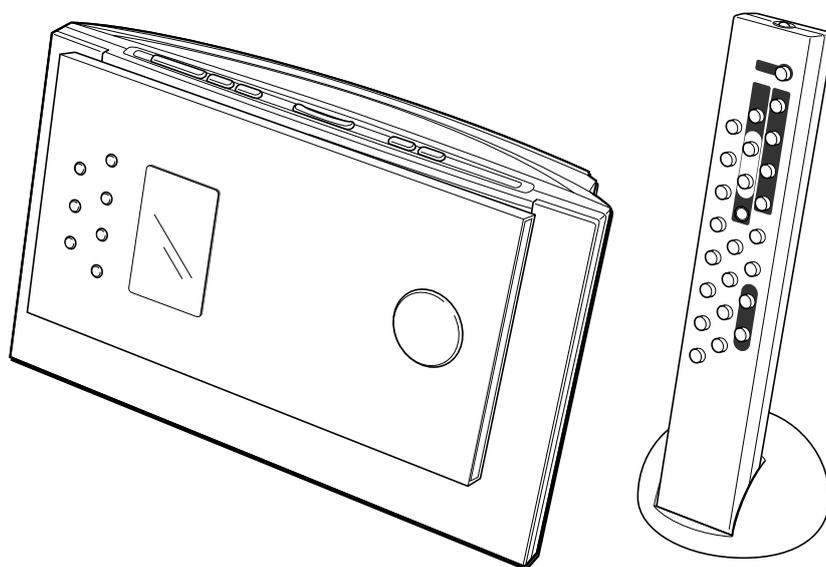


marantz®

Model CR101 取扱説明書

Personal CD System



CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

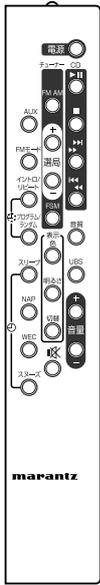
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの株式会社マランツコンシューマーマーケティング 各営業所/サービスセンターにお問い合わせください。

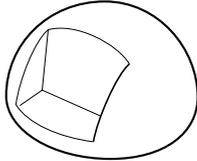
付属品の確認

下記の付属品がそろっていることを確認してください。

- リモコン×1



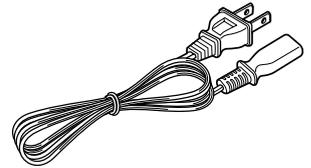
- リモコンスタンド×1



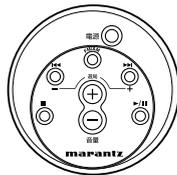
- 単三乾電池×2
(リモコン用)



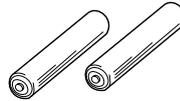
- 電源コード×1



- 簡易リモコン×1



- 単四乾電池×2
(簡易リモコン用)



- 取扱説明書(本書)×1

- 保証書×1

目次

安全上のご注意	1	CD(コンパクトディスク)を聴く ..	21
ご使用の前に	5	本機にCDを入れる	21
設置するときの注意	5	CDを再生する	21
ご使用上の注意	6	前曲、次曲の選択.....	22
ディスクの取り扱い.....	6	早戻し、早送り.....	22
リモコンに電池を入れる	7	イントロ(曲頭)再生	22
リモコンの動作範囲	7	ランダム再生	22
簡易リモコンに電池を入れる	8	繰り返し(リピート)再生	23
簡易リモコンの動作範囲	8	指定した曲順で聴く	23
各部の名称	9	ラジオを聴く	25
上面	9	ラジオの基本操作.....	25
正面.....	10	放送局を記憶(プリセット)させて聴く...25	
側面.....	11	タイマーを使う	27
表示部	12	目覚ましタイマー.....	27
本機の使用状態について	13	アラームタイマー.....	28
リモコン	14	スリープタイマー.....	29
簡易リモコン.....	16	故障かな?と思ったら	30
接続する	17	仕様	31
電源コードを接続する	17	アンプ部	31
外部機器を接続する	17	チューナー部.....	31
ヘッドフォンを接続する	17	CD部.....	31
準備をする	18	システム部	31
時計を合わせる	18	その他	32
表示部の明るさ調整	18	お手入れについて.....	32
表示部の色設定.....	18	音のエチケット	32
基本操作	19	保証・アフターサービスについて....	32
電源を入れる	19		
音量の調整	19		
一時的に音を消す(ミュート).....	19		
音質の設定	19		
音質「USER」の設定	20		
低音強調の設定.....	20		

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



指のケガに注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。



警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



警告



水場での使用禁止

- 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。
この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にもろそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



分解禁止

- この機器の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス-の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。



指のケガに注意



手を挟まれないよう注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



注意



電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒には携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス-端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



注意



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

OPT_060705F1

ご使用前に

設置するときの注意

本機を長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 風とおしが悪く、湿気やホコリの多い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- その他、特に温度の高いところ
- アンプ等の発熱の多いものの上において長時間使用しますと、コンパクトディスクプレーヤーのピックアップ部分に使用しているレーザーダイオードが熱の影響を受けやすくなりますので、アンプ等の発熱の多いものの上に置いて使用することは避けてください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビと本機の距離を離してください。

結露現象について

本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房をいれた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域、または60Hz地域どちらでも使用できます。

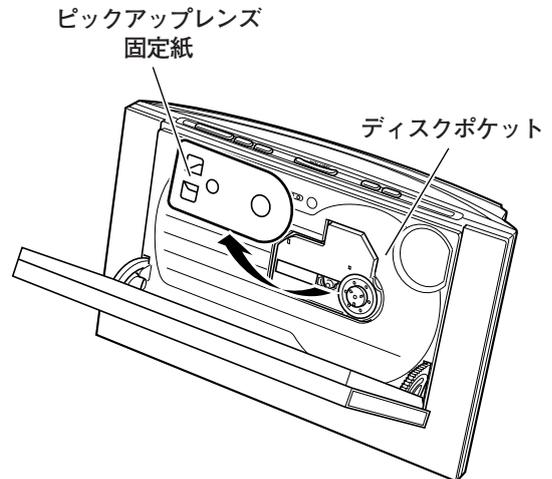
電源コードの取り扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱたり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。

ピックアップレンズ固定紙の取り外し

注意

- 電源コードを接続する前に、本機のディスクポケットにあるピックアップレンズ固定紙を必ず外してください。電源を入れるとピックアップレンズ部が移動します。



- ディスクポケット内部にあるピックアップレンズには触れないでください。レンズに指紋や傷などがつくと、ディスクを再生できなくなることがあります。
- ピックアップのレーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ご使用上の注意

■ 本機について

- 本機は、音楽用CD(コンパクトディスク)再生専用のオーディオプレーヤーです。パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVDなどは再生できません。また、チューナーを内蔵しており、お好みのラジオ番組を聴くことができます。

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクが再生できます。下表以外のディスクは再生しないでください。

再生できるディスク	マーク(ロゴ)	ディスクの大きさ
音楽用CD		12cm/8cm盤
CD-R	 	12cm/8cm盤

注意

- CD-Rは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- CD-RWは再生できません。  
- 8cmアダプター(音楽CD用)は使わないでください。

■ 使用するときの注意

- CD(コンパクトディスク)は、アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏が始まるまでノイズはほとんど聞き取れません。本機の音量を上げすぎますとスピーカーを破損することがありますので、ご注意ください。

■ コピーコントロールCD(コピーガード付CD)について

コピーコントロールCD(コピーガード付CD)は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。

通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。

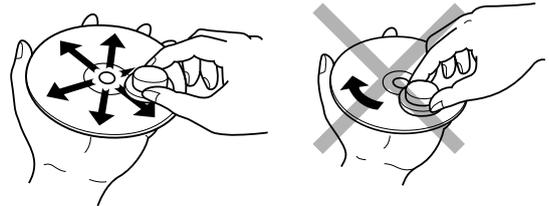
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

ディスクの取り扱い

- ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

■ ディスクの表面はいつもきれいに

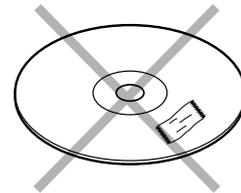
ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。



- 放射状方向にふいてください。 - 円周方向にはふかないでください。

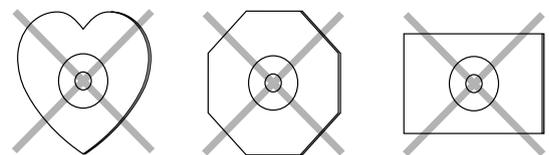
- ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



- 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。



- ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

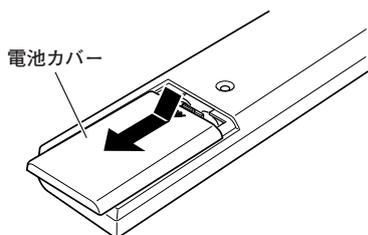
ディスクはディスク用ケースに入れて正しく保管しましょう。

リモコンに電池を入れる

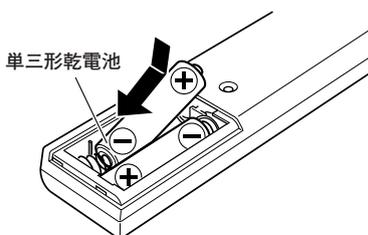
注意

- 付属の乾電池はリモコンの初期動作確認用です。リモコンをお使いになるときは、新しい単三乾電池 2本を装着してください。

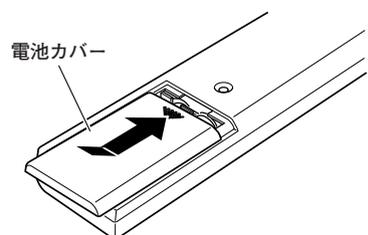
1. リモコン背面の電池カバーを矢印方向に押しながら外します。



2. 新しい単三乾電池 2本を、極性表示（+：プラスと-：マイナス）に注意し、表示通りに正しく入れてください。



3. 電池カバーを以下のように元に戻します。



乾電池の取扱いについて

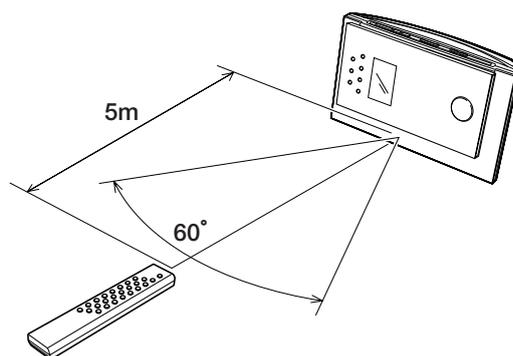
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。

以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス+とマイナスの向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの動作範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のとおりです。



使用上の注意

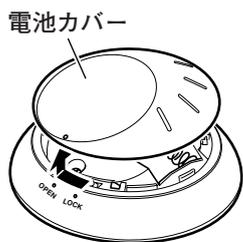
- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で作成する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

簡易リモコンに電池を入れる

注意

- 付属の乾電池はリモコンの初期動作確認用です。リモコンをお使いになるときは、新しい単四乾電池 2本を装着してください。

1. リモコン背面の電池カバーを矢印方向 (OPEN方向) に回しながら外します。



2. 新しい単四乾電池 2本を、極性表示 (+:プラスと -: マイナス) に注意し、表示通りに正しく入れてください。



3. 電池カバーを以下のように元に戻します。



乾電池の取扱いについて

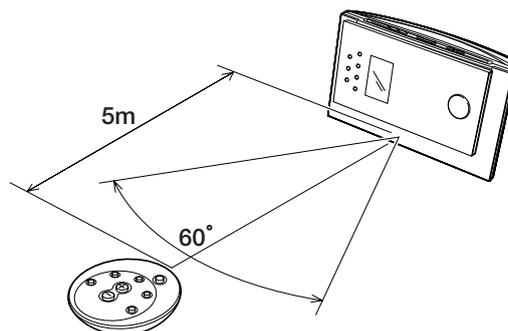
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。

以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間 (1ヶ月以上) リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス+とマイナスの向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

簡易リモコンの動作範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のとおりです。

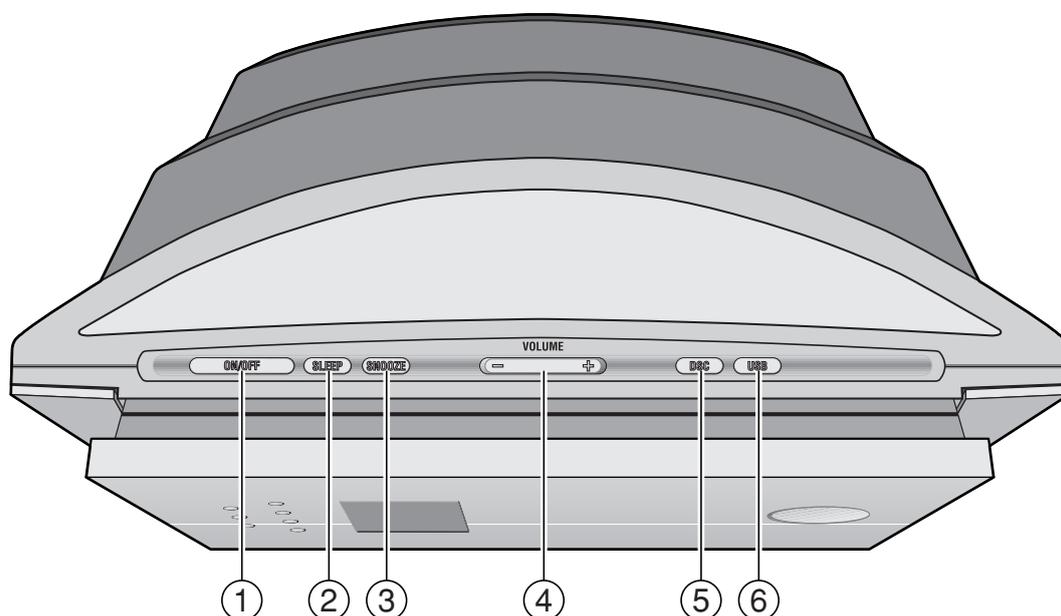


使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で作動する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

上面



① ON/OFFボタン（電源オン/待機状態）

(☞ P.19)

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

② SLEEP(スリープ)ボタン (☞ P.29)

このボタンを押してスリープ時間を設定します。設定した時間になると本機の電源が切れます。

③ SNOOZE(スヌーズ)ボタン (☞ P.28)

本機でアラームを設定した場合、このボタンを押すと設定時間に鳴るアラーム音を一時停止します。

④ VOLUME+/- (音量調節) ボタン

(☞ P.19)

+ボタンを押すと、音量が大きくなります。

-ボタンを押すと、音量が小さくなります。

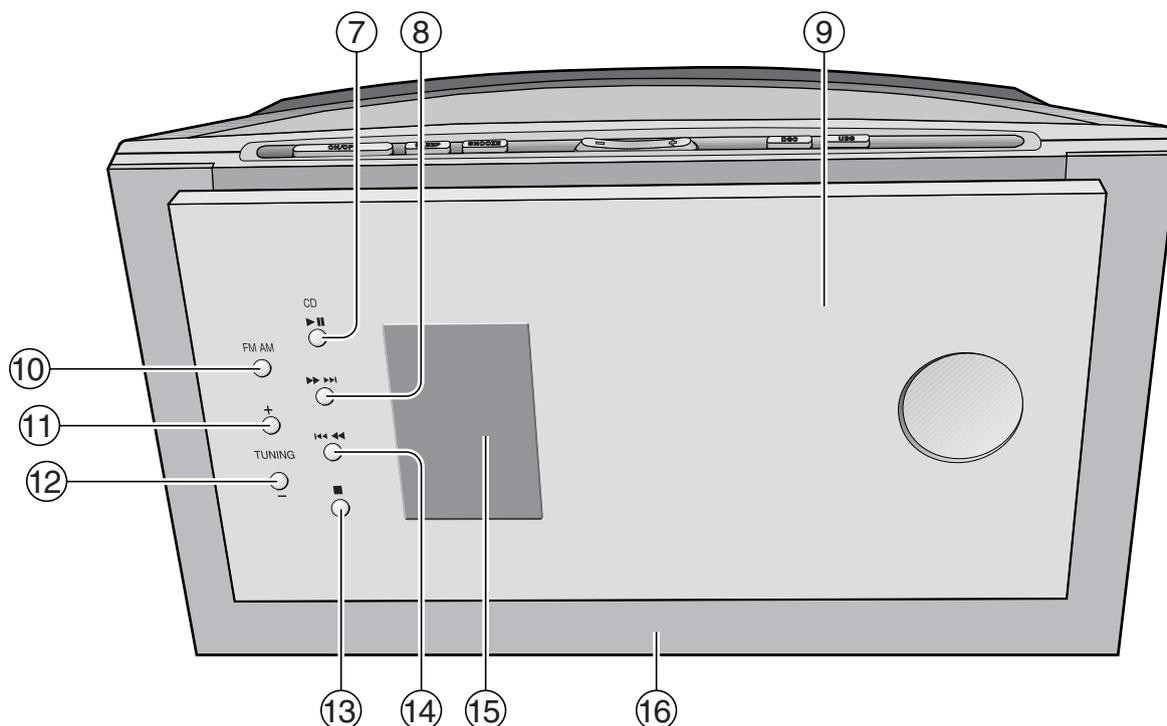
⑤ DSC (音質) ボタン (☞ P.19)

このボタンを押して聴いている音楽の音質を設定します。音楽に合わせて音質を設定してください。

⑥ UBS (ウルトラバスシステム) ボタン (低音強調設定) (☞ P.20)

このボタンを押すと、低音強調設定をON/OFFします。

正面



⑦ CD▶/II(CD再生/一時停止)ボタン (P.21)

待機状態および他の音源を選択中にこのボタンを押すと、本機に電源が入りCD再生状態になります。ディスクが入っているときは、自動的にディスクが再生されます。また再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

⑧ ▶▶/▶▶(次曲選択/早送り)ボタン (P.22)

<CD再生状態のとき>
このボタンを押すと、押した回数だけ次の曲に進みます。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。
<ラジオ状態のとき>
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

⑨ ディスクポケット (P.21)

ここに音楽CD(ディスク)を入れてください。

注意

- ディスクを再生しているときは、ディスクポケットを開けないでください。プレーヤーの故障の原因になります。

⑩ チューナー FM/AMボタン (P.25)

待機状態および他の音源を選択中にこのボタンを押すと、本機に電源が入りラジオ状態になります。ラジオ状態でさらにこのボタンを押すと、FM/AMを切り替えます。

⑪ 選局(TUNING)＋ボタン (P.25)

このボタンを押すと、受信周波数が上がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し受信します。

⑫ 選局(TUNING)－ボタン (P.25)

このボタンを押すと、受信周波数が下がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し受信します。

⑬ ■(停止/削除)ボタン (P.21)

<CD再生状態のとき>
ディスクの再生を停止します。また曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。
<ラジオ状態のとき>
このボタンを押し続けると、記憶させた放送局(プリセット番号)を取り消します。

⑭ ◀◀/◀◀(前曲選択/早戻し)ボタン (P.22)

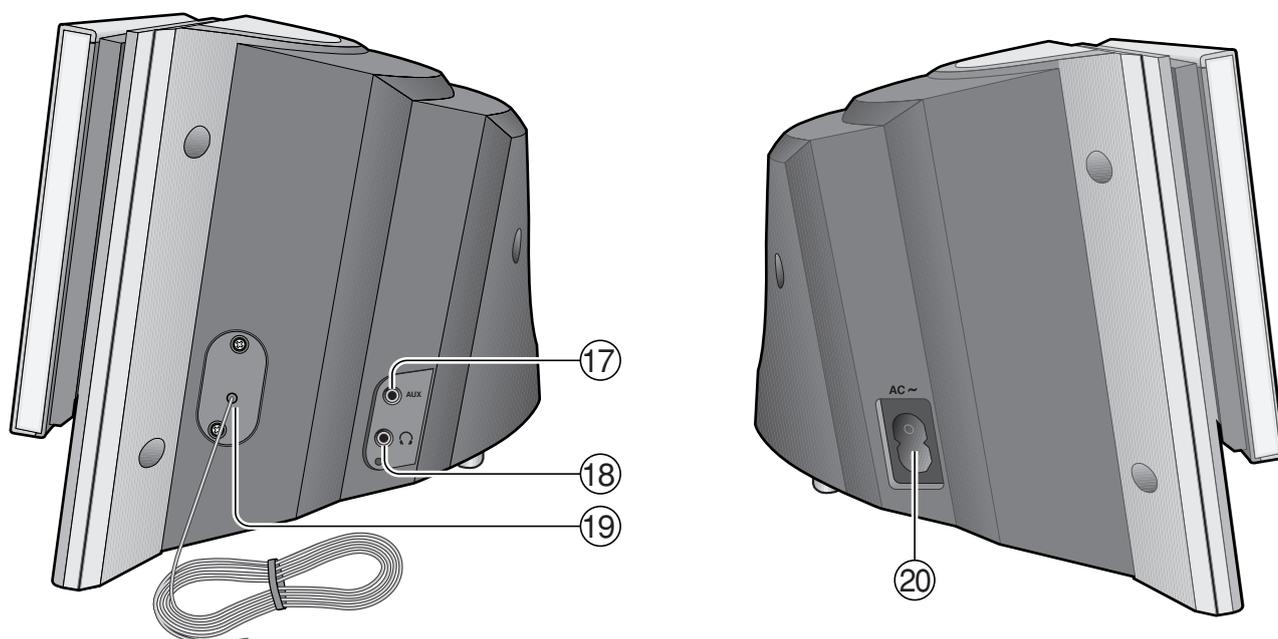
<CD再生状態のとき>
このボタンを押すと、現在再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻します。
<ラジオ状態のとき>
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

⑮ 表示部 (P.12)

⑯ リモコン受光部 (P.7、8)

リモコンの赤外線信号を受信します。

側面



⑰ AUX (外部入力) 端子 (☞ P.17)

本機に外部機器を接続する場合、この外部入力端子に接続してください。

⑱ (ヘッドフォン) 端子 (☞ P.17)

本機にヘッドフォンを接続する場合、このヘッドフォン端子に接続してください。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーから音は出なくなります。

⑲ FMアンテナ (☞ P.25)

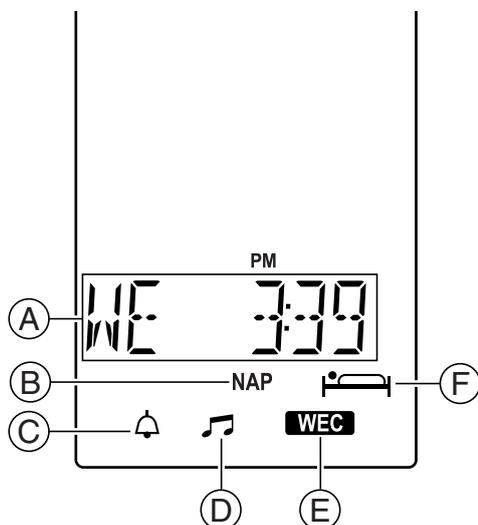
FM放送を受信するためのワイヤーアンテナです。

⑳ 電源コード用端子 (☞ P.17)

この端子に付属の電源コードを差し込み、電源コードのプラグを家庭用AC100V(50/60Hz)コンセントに接続してください。

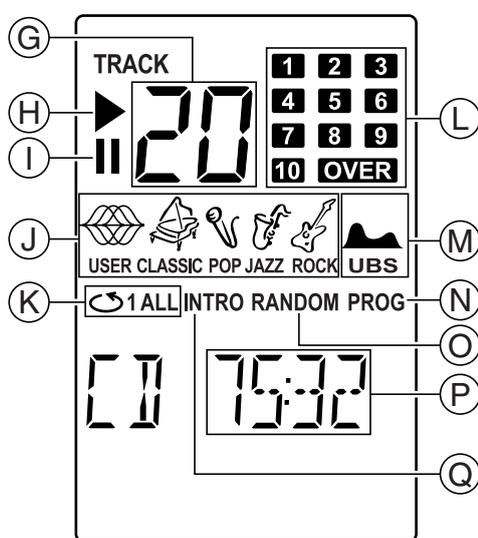
表示部

□ 待機状態



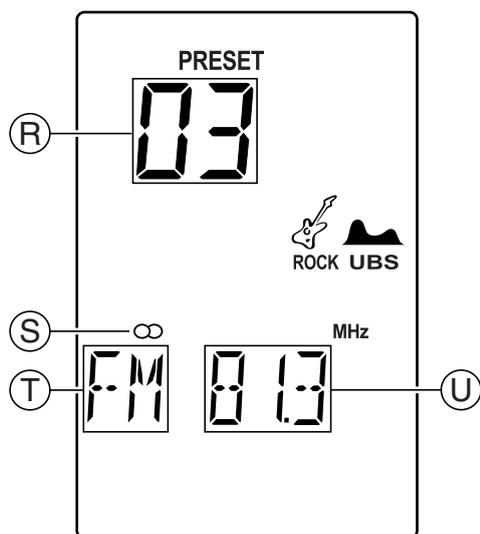
- Ⓐ 時計表示
曜日と時刻を表示します。
- Ⓑ NAP表示
アラームタイマー設定時に表示します。
- Ⓒ 表示
目覚ましタイマーの目覚まし音をブザーに設定したとき表示します。
- Ⓓ 表示
目覚ましタイマーの目覚まし音をCDまたはラジオに設定したとき表示します。
- Ⓔ WEC表示
目覚ましタイマーを週末(土、日)解除に設定したとき表示します。
- Ⓕ 表示
スリープタイマー設定時に表示します。

□ CD再生状態



- Ⓚ 表示
繰り返し再生を設定したときに表示します。
- Ⓛ 曲番号リスト表示
ディスク再生時は再生中の曲番号が点滅します。10曲以上あるディスクを入れたとき、「OVER」が表示されます。曲順指定再生のときは、設定した局番号が表示されます。
- Ⓜ UBS表示
低音強調を設定したときに表示します。
- Ⓝ PROG表示
曲順指定再生のときに表示されます。曲順の設定状態のときは点滅します。
- Ⓞ RANDOM表示
ランダム再生を設定したときに表示します。
- Ⓟ 再生時間表示
ディスク再生中は再生の経過時間を表示します。停止中はディスク総再生時間を表示します。
- Ⓠ INTRO表示
イントロ再生を設定したときに表示します。
- ⓐ 曲番号表示
ディスク再生中は再生の曲番号を表示します。停止中はディスクの全曲数を表示します。
- ⓑ (再生)表示
ディスクを再生中に表示します。
- ⓒ (一時停止)表示
ディスクの再生を一時停止したときに表示します。
- ⓓ 音質表示
音楽に合わせて設定した音質を表示します。

□ ラジオ状態



Ⓡ プリセット番号表示

記憶させた放送局の番号(プリセット番号)を表示します。

Ⓢ ∞ (ステレオ)表示

ステレオ放送を受信中に表示します。

Ⓣ FM/AM表示

受信している放送局の受信バンド*(FM/AM)を表示します。

Ⓤ 周波数表示

受信している放送局の周波数を表示します。

本機の使用状態について

本機の使用状態に応じて、いくつか操作ボタンの機能が変わることがあります。

本機をお使いになる上で、ボタン操作をよりよく理解していただくために、本書では操作説明の要所に各使用状態を明記してあります。ここでは、本書に明記した各使用状態の意味を以下に説明します。

□ 待機状態

本機に付属の電源コードを接続した状態です。

本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンで電源をOFFにした状態です。

表示部に時計だけが表示された状態です。

□ CD再生状態

CD▶/|| ボタンを押し、CDを再生した状態です。

表示部にディスクの曲番号リストが表示された状態です。

□ ラジオ状態

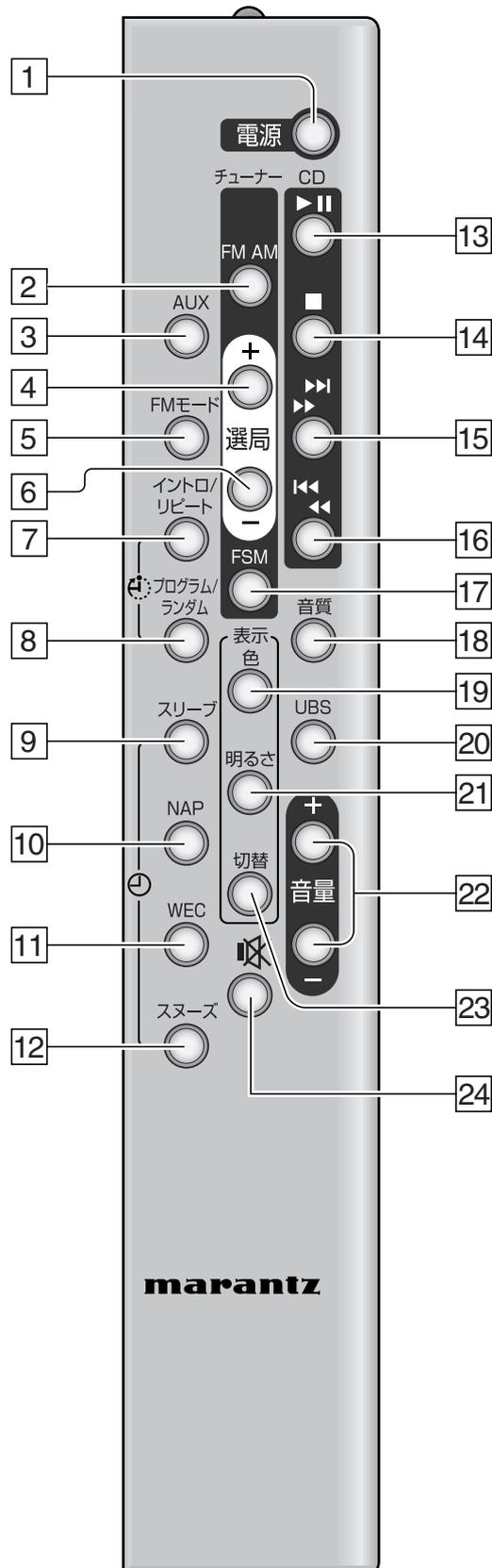
チューナーFM/AMボタンを押し、ラジオが聴ける状態です。

表示部に放送局の周波数が表示された状態です。

□ 外部入力状態

AUXボタンを押し、表示部に「AUX」が表示された状態です。

リモコン



1 電源ボタン (電源オン/待機状態) (P.19)
このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

2 チューナー FM/AMボタン (P.25)
待機状態および他の音源を選択中にこのボタンを押すと、本機に電源が入りラジオ状態になります。ラジオ状態でさらにこのボタンを押すと、受信バンド (FM/AM) が切り替わります。

3 AUX (外部入力) ボタン (P.17)
本機に外部機器を接続している場合、このボタンを押すと外部入力状態になります。

4 選局+ボタン (P.25)
このボタンを押すと、ラジオの受信周波数が上がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し受信します。

5 FMモードボタン (P.25)
FM放送を受信しているとき、このボタンを押すと、ステレオ受信/モノラル受信を切り替えます。

6 選局-ボタン (P.25)
このボタンを押すと、ラジオの受信周波数が下がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し受信します。

7 イン트로/リピート/プログラム/ランダムボタン
<CD停止状態のとき> (P.22)
このボタンを押すと、曲のイントロだけが再生されます。
<CD再生状態のとき> (P.23)
このボタンを押すと、1曲繰り返し再生/全曲繰り返し再生を設定します。
<待機状態のとき> (P.27)
このボタンを押すと、目覚ましタイマーが設定されます。もう一度押すと解除されます。またこのボタンを押し続けると、目覚ましタイマーの内容設定状態になります。

8 プログラム/ランダム/プログラム/ランダムボタン
<CD停止状態のとき> (P.23)
このボタンを押すと、曲順指定再生の曲順設定状態になります。
<CD再生状態のとき> (P.22)
このボタンを押すと、ランダム再生を設定します。
<待機状態のとき> (P.18)
このボタンを押すと、時計の12時間表示/24時間表示が切り替わります。またこのボタンを押し続けると、時計の設定状態になります。

9 スリープボタン (P.29)

このボタンを押してスリープ時間を設定します。設定した時間になると本機の電源が切れます。

10 NAP(アラームタイマー)ボタン (P.28)

このボタンを押してアラーム時間を設定します。設定した時間になるとアラームが鳴ります。

11 WECボタン(目覚ましタイマー週末解除) (P.28)

このボタンを押すと、設定している目覚ましタイマーを週末(土、日)だけ無効にします。

12 スヌーズボタン (P.28)

本機でアラームを設定した場合、このボタンを押すと設定時間に鳴るアラーム音を一時停止します。

13 CD▶/II(CD再生/一時停止)ボタン (P.21)

待機状態にこのボタンを押すと、本機に電源が入りCD再生状態になります。ディスクが入っているときは、自動的にディスクが再生されます。

また再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

14 ■(停止/削除)ボタン

<CD再生状態のとき> (P.21)

ディスクの再生を停止します。

また曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。

<ラジオ状態のとき> (P.26)

このボタンを押し続けると、記憶させた放送局(プリセット番号)を取り消します。

15 ▶▶/▶▶(次曲選択/早送り)ボタン

<CD再生状態のとき> (P.22)

このボタンを押すと、押した回数だけ次の曲に進みます。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。

<ラジオ状態のとき> (P.26)

このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

16 ◀◀/◀◀(前曲選択/早戻し)ボタン

<CD再生状態のとき> (P.22)

このボタンを押すと、現在再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻します。

<ラジオ状態のとき> (P.26)

このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

17 FSMボタン(放送局ワンタッチ受信) (P.26)

ラジオ状態でこのボタンを押すと、記憶させた放送局(プリセット番号)の「01」を呼び出し受信します。

18 音質ボタン (P.19)

このボタンを押して聴いている音楽の音質を設定します。音楽に合わせて音質を設定してください。

19 色ボタン(表示部の色設定) (P.18)

このボタンを押すと、表示部の照明色を切り替えます。8色の照明色からお好みの色を選んでください。

20 UBS(ウルトラバスシステム)ボタン(低音強調設定) (P.20)

このボタンを押すと、低音強調設定をON/OFFします。

21 明るさボタン(表示部の明るさ設定) (P.18)

このボタンを押すと、表示部の明るさを3段階で切り替えます。

22 音量+/-ボタン (P.19)

+ボタンを押すと、音量が大きくなります。

-ボタンを押すと、音量が小さくなります。

23 切替ボタン(表示部の表示切り替え)

<ラジオ状態のとき> (P.25)

このボタンを押すと、放送局(FM/AM、周波数)表示と時計表示を切り替えます。

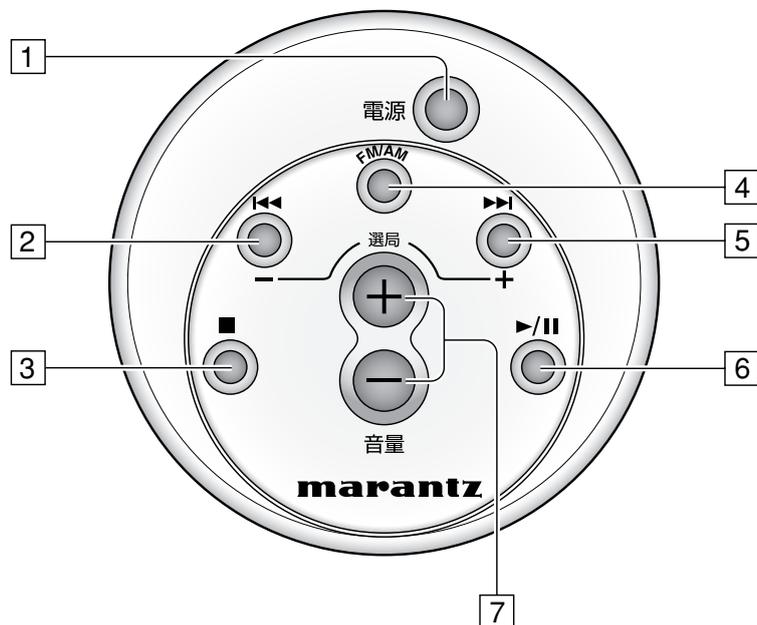
<待機状態のとき> (P.27)

このボタンを押すと、目覚ましタイマーの設定内容を確認できます。

24 ✕(ミュート)ボタン (P.19)

このボタンを押すと、スピーカーまたはヘッドホンから出る音を一時的に消します。もう一度押すと音が出ます。

簡易リモコン



1 電源ボタン (電源オン/待機状態) (P.19)

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

2 ◀◀(前曲選択/早戻し)/選局-ボタン

<CD再生状態のとき> (P.22)
このボタンを押すと、現在再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻します。

<ラジオ状態のとき> (P.25、26)
このボタンを押すと、受信周波数が下がります。このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

3 ■(停止/削除) ボタン

<CD再生状態のとき> (P.21)
ディスクの再生を停止します。また曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。

<ラジオ状態のとき> (P.26)
このボタンを押し続けると、記憶させた放送局(プリセット番号)を取り消します。

4 FM/AMボタン (P.25)

待機状態にこのボタンを押すと、本機に電源が入りラジオ状態になります。ラジオ状態でさらにこのボタンを押すと、FM/AMを切り替えます。

5 ▶▶(次曲選択/早送り)/選局+ボタン

<CD再生状態のとき> (P.22)
このボタンを押すと、押した回数だけ次の曲に進みます。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。

<ラジオ状態のとき> (P.25、26)
このボタンを押すと、受信周波数が上がります。このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

6 ▶/|| (CD再生/一時停止) ボタン (P.21)

待機状態にこのボタンを押すと、本機に電源が入りCD再生状態になります。ディスクが入っているときは、自動的にディスクが再生されます。また再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

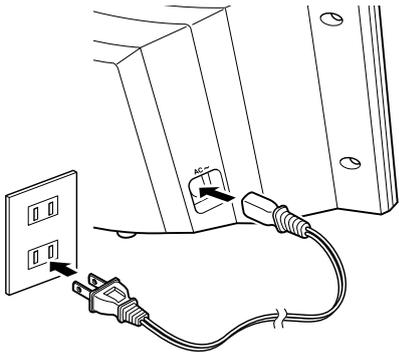
7 音量+/-ボタン (P.19)

+ボタンを押すと、音量が大きくなります。
-ボタンを押すと、音量が小さくなります。

接続する

電源コードを接続する

1. 付属の電源コードを本機の電源コード用端子に差し込みます。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
 - 電源コードを接続すると、時計表示が点滅します。時計(時刻/曜日)を設定してください。(P.18)

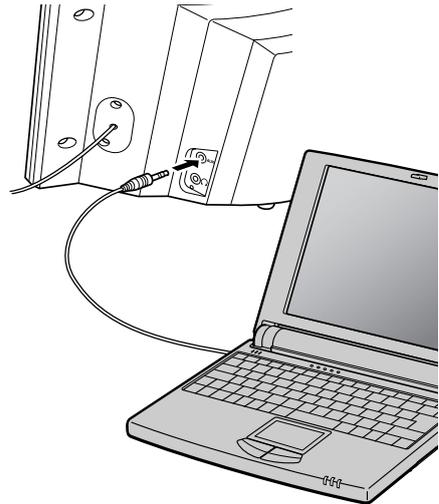


注意

- 電源コードが接続されていると、電源が常時入った状態(待機状態)になっています。完全に本機の電源を切りたい時は電源コードを抜いてください。ただし、再度電源コードを接続した時には、時計・タイマーの設定が必要になります。

外部機器を接続する

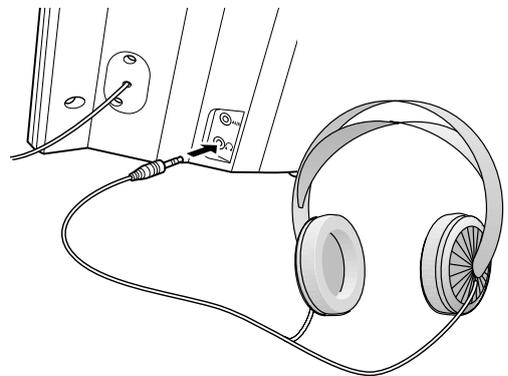
1. ステレオミニプラグ(Φ3.5mm)付オーディオケーブル(市販品)を使い、本機のAUX(外部入力)端子と外部機器(パソコンやMP3プレーヤーなど)の外部出力端子を接続します。
 - 接続する際は、本機および外部機器の音量を上げ過ぎないようにご注意ください。



ヘッドフォンを接続する

注意

- ヘッドフォンを接続すると、本機のスピーカーから音は出なくなります。
1. ヘッドフォンプラグ(Φ3.5mm)を本機のヘッドフォン端子に接続します。
 - 接続する際は、本機の音量を上げ過ぎないようにご注意ください。



準備をする

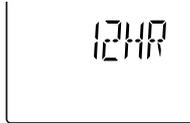
時計を合わせる

初めて本機に電源コードを接続すると、時計表示(時刻)が点滅して設定が必要なことを示します。時計を合わせるには、必ず待機状態で設定してください。

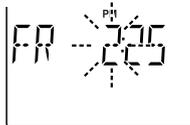
注意

- 時計の設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。

1. 本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを切り、待機状態にします。
2. リモコンのプログラム/ランダム/☺ ボタンを何度か素早く押し、「12時間表示」または「24時間表示」のどちらかを選びます。
 - リモコンのプログラムボタンを押して選ぶと、「12HR」または「24HR」が約3秒表示されます。



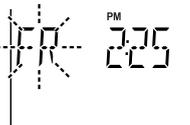
3. リモコンのプログラムボタンを押し続けると、時計の「時」を設定する状態になります。
 - このとき「時」表示が点滅します。



4. リモコンの選局+/-ボタンを押して「時」を設定します。設定した時間を決定するには、リモコンのプログラムボタンを押します。
 - 時間を決定したら、「分」表示が点滅します。



5. リモコンの選局+/-ボタンを押して「分」を設定します。設定した時間を決定するには、リモコンのプログラムボタンを押します。
 - 時間を決定したら、「曜日」表示が点滅します。



6. リモコンの選局+/-ボタンを押して「曜日」を設定します。設定した曜日を決定するには、リモコンのプログラムボタンを押します。
 - 曜日を決定したら設定完了です。

表示部の明るさ調整

本機の表示部は明るさを3段階に調整できます。

1. リモコンの明るさボタンを押すごとに、表示部の明るさが3段階で変わります。

明→暗→消
↑

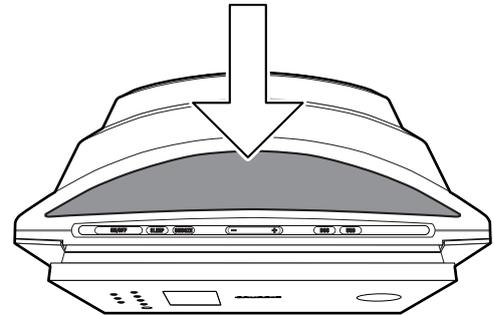
<自動明るさ調整>

本機では、部屋の明るさに応じて表示部の明るさを自動で調整する機能がついています。

注意

- センサーの上には物を置かないでください

明るさセンサー部



表示部の色設定

本機の表示部は8色の照明色からお好みの色を設定できます。

1. リモコンの色ボタンを押すごとに、表示部の照明色が変わります。お好みの色を選んでください。

基本操作

注意

- 基本操作は、必ず電源を入れた状態で操作してください。

電源を入れる

1. 本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを押すと、電源が入ります。
 - 電源が入ると、前回電源を切ったときの状態が表示されます。
 - 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタン、チューナーFM/AMボタンまたはAUXボタンを押しても電源が入ります。
2. 再度、本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを押すと、待機状態になります。
 - このとき「GOOD BYE」が約2秒表示され、時計表示になります。



注意

- 電源コードが接続されていると、電源が常時入った状態（待機状態）になっています。完全に本機の電源を切りたい時は電源コードを抜いてください。ただし、再度電源コードを接続した時には、時計・タイマーの設定が必要になります。

音量の調整

1. 本機のVOLUME+/-ボタンまたはリモコンの音量+/-ボタンを押して、音量を調整します。
 - +ボタンを押すと、音量が大きくなります。-ボタンを押すと、音量が小さくなります。
 - 音量調整の範囲は「0」から「MAX」(31)までです。
 - ボタンを押し続けると、連続して音量を調整できます。



一時的に音を消す(ミュート)

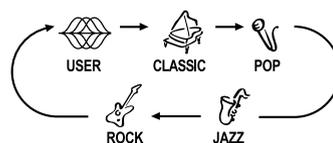
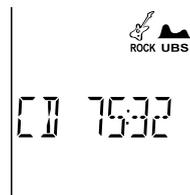
1. リモコンのミュートボタンを押すと、スピーカーまたはヘッドホンから出る音を一時的に消します。
 - このとき表示部に「MUTE」が表示されます。
 - もう一度このボタンを押すと、スピーカーから音が出ます。



音質の設定

本機では、聴いている音楽に合わせて音質を設定できます。音質設定は、USER、CLASSIC、POP、JAZZ、ROCKの5種類の中から設定します。初期設定はUSERになっています。

1. 本機のDSCボタンまたはリモコンの音質ボタンを押すごとに、5種類の音質が順次変わります。音楽に合わせて音質を設定してください。



- 音質「USER」は、お客様自身でお好みの音質を作ることができます。聴きやすい音質を設定してください。(P.20)

音質「USER」の設定

音質「USER」は、お客様自身でお好みの音質を作ることができます。聴きやすい音質を設定してください。

1. 本機の**DSC**ボタンまたはリモコンの**音質**ボタンを押して、「USER」を設定します。
2. さらに本機の**DSC**ボタンまたはリモコンの**音質**ボタンを約2秒押し続けると、低音域の設定状態になります。
 - このとき表示部に「BASS 0」が表示されます。
 - 音域設定状態は、ボタンの無操作状態が5秒以上続くと自動的に元の状態に戻ります。



3. 本機の**VOLUME+**/**-**ボタンまたはリモコンの**音量+**/**-**ボタンを押して、低音域のレベルを設定します。
 - 音域レベルの範囲は、「-6」から「+6」までです。
4. 続けて本機の**DSC**ボタンまたはリモコンの**音質**ボタンを押すと、中音域の設定状態になります。
 - このとき表示部に「MID 0」が表示されます。



5. 本機の**VOLUME+**/**-**ボタンまたはリモコンの**音量+**/**-**ボタンを押して、中音域のレベルを設定します。
6. 続けて本機の**DSC**ボタンまたはリモコンの**音質**ボタンを押すと、高音域の設定状態になります。
 - このとき表示部に「TRE 0」が表示されます。

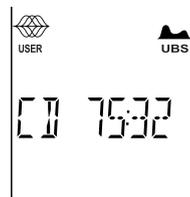


7. 本機の**VOLUME+**/**-**ボタンまたはリモコンの**音量+**/**-**ボタンを押して、高音域のレベルを設定します。

低音強調の設定

1. 本機またはリモコンの**UBS**ボタンを押すと、低音強調設定のON/OFFが設定できます。

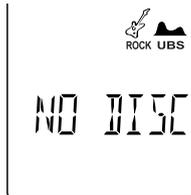
- 設定がONのとき表示部に「 UBS」が表示されます。



CD(コンパクトディスク)を聴く

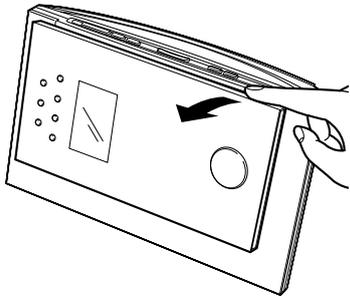
本機にCDを入れる

1. 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタンを押して、電源を入れます。
 - このとき、本機はCD再生状態になります。
 - 本機にCDが入っていないとき、表示部に「NO DISC」が表示されます。



- 本機にCDが入っているときは、自動的にCDが再生されます。

2. 本機のディスクポケットを手前に軽く開きます。

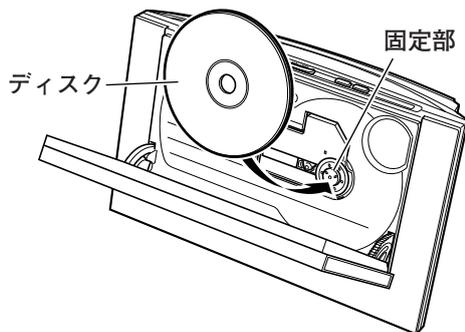


- このとき表示部に「OPEN」が表示されます。



注意

- ディスクポケット内部にあるピックアップレンズには触れないでください。レンズに指紋や傷などがつくと、ディスクを再生できなくなることがあります。
3. CDのラベル面を上にして、ディスクポケット内部のCD固定部に差し込みます。



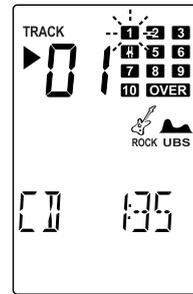
注意

- ディスクが正しく差し込まれないとディスクの認識、再生ができません。

4. 本機のディスクポケットを元の状態に戻します。
 - このとき表示部に「CD READ」が表示されます。
 - CDの読み込みが完了すると、CD再生状態になります。

CDを再生する

1. 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタンを押すと、CDが再生されます。
 - 表示部に「▶」が表示され、CDの最初の曲から再生されます。
 - CD再生時は、再生中の曲番号が点滅します。11曲目以降の再生では「OVER」が点滅します。
 - CD再生時は、再生中の曲の経過時間が表示されます。
 - CDの最後の曲を再生し終わると、自動的に停止します。



□ 一時停止する

1. CD再生中に、もう一度CD ▶/|| ボタンを押すと、再生を一時停止します。
 - 表示部に「||」が表示され、一時停止中の曲番号が点滅します。
 - 再び再生を始めるには、もう一度CD ▶/|| ボタンを押します。



□ 再生を停止する

1. CD再生中に、■ボタンを押すと、再生を停止します。

前曲、次曲の選択

□ 前曲(または再生曲の最初)の選択

1. CD再生中に、本機またはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押すと、再生している曲の最初からもう一度再生します。
2. 再生中の曲より前の曲を選ぶには、希望の曲番号が表示されるまで、本機またはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを何度か押します。
 - 希望の曲番号を選ぶと、その曲が自動的に再生されます。

□ 次曲の選択

1. 再生中の曲より次の曲を選ぶには、希望の曲番号が表示されるまで、本機またはリモコンの▶▶/▶▶ボタンを何度か押します。
 - 希望の曲番号を選ぶと、その曲が自動的に再生されます。

早戻し、早送り

曲の聴きたい部分を素早く見つけるのに便利です。早戻し/早送り中は、スピーカーからの音量は小さくなります。

□ 早戻し

1. CD再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機またはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離します。
 - 聴きたい部分から再生が始まります。

□ 早送り

1. CD再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機またはリモコンの▶▶/▶▶ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離します。
 - 聴きたい部分から再生が始まります。

イントロ(曲頭)再生

CDに入っている曲の頭を10秒間だけ順次再生します。お探しの曲を再生するときに便利です。イントロ再生は、必ずCD停止状態から操作してください。

1. 本機またはリモコンの■ボタンを押して、CDの再生を停止します。
2. リモコンのイントロ/リピートボタンを押すと、CDの最初の曲からイントロ再生が始まります。
 - このとき表示部に「INTRO」が表示されます。

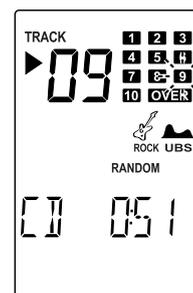


- 続けてイントロボタンを押すと、押したときの曲の頭を「1曲繰り返し再生」します。
 - さらに続けてイントロボタンを押すと、押したときの曲から「全曲繰り返し再生」します。
3. 表示部の「INTRO」が消えるまでリモコンのイントロボタンを押すと、イントロ再生が解除された曲から順次再生されます。

ランダム再生

CDに入っている曲をランダムに再生します。ランダム再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタンを押して、CDを再生します。
2. リモコンのプログラム/ランダムボタンを押すと、ランダム再生が始まります。
 - このとき表示部に「RANDOM」が表示されます。



3. ランダム再生を解除するには、リモコンのランダムボタンをもう一度押します。

繰り返し(リピート)再生

□ 1曲繰り返し再生

任意の曲だけを繰り返し(リピート)再生します。繰り返し再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタンを押して、CDを再生します。
2. リモコンのイントロ/リピートボタンを1回押すと、押したときの曲だけを繰り返し再生します。
 - このとき表示部に「🔄1」が表示されます。

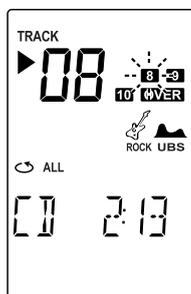


3. 1曲繰り返し再生を解除するには、リモコンのリピートボタンを2回押します。
 - このとき表示部の「🔄1」が消えます。

□ 全曲繰り返し再生

CDに入っている全曲を繰り返し(リピート)再生します。繰り返し再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機またはリモコンのCD ▶/|| ボタンを押して、CDを再生します。
2. リモコンのリピートボタンを2回押すと、押したときの曲から全曲繰り返し再生します。
 - このとき表示部に「🔄 ALL」が表示されます。



3. 全曲繰り返し再生を解除するには、リモコンのリピートボタンを1回押します。
 - このとき表示部の「🔄 ALL」が消えます。

指定した曲順で聴く

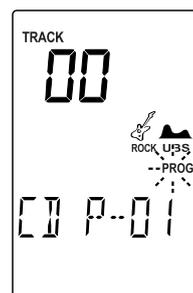
CDに入っている曲の中から、お客様のお好みの曲をお好きな順番で再生することができます。曲順指定の曲数は最大20曲までです。また同じ曲を2回以上指定できます。曲順指定再生は、必ずCD停止状態から操作してください。

注意

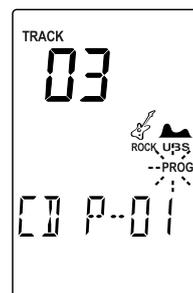
- 曲順の設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。

□ 曲順を指定し再生する

1. ■ボタンを押して、CDの再生を停止します。
2. リモコンのプログラム/ランダムボタンを押すと、曲順指定再生の曲順設定状態になります。
 - 表示部が以下のように変わり、指定番号「P-01」が表示されます。
 - このとき表示部の「PROG」が点滅しています。



3. リモコンの◀/▶または▶/▶ボタンを押して、曲を指定します。
 - 表示部には指定した曲番号が表示されます。



4. 指定した曲を決定するには、リモコンの**プログラム**ボタンを押します。

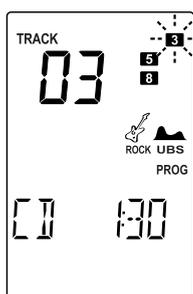
- このとき表示部は、次の曲の指定番号「P-02」を表示します。
- また指定した曲が曲番号リストに表示されます。



5. 手順 3 と 4 を繰り返して、他の曲も順番に指定してください。(最大20曲まで)

6. 指定した曲順を再生するには、リモコンの**CD ▶/||** ボタンを押して再生します。

- このとき表示部の「PROG」が点滅から点灯に変わります。



- 指定した曲の順番で再生が始まります。

□ 曲順指定再生の解除 (CD再生状態へ)

1. 曲順指定再生中に本機またはリモコンの**■**ボタンを押すと、再生を停止しCD再生状態に変わります。

- このとき、指定した曲順の内容は記憶された状態です。

2. 本機またはリモコンの**CD ▶/||** ボタンを押すと、通常の再生が始まります。

□ CD再生状態から曲順指定再生へ

1. CD再生中に本機またはリモコンの**■**ボタンを押し、再生を停止します。

2. リモコンの**プログラム**ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。

- このとき表示部の「PROG」が点滅しています。

3. 続けてリモコンの**CD ▶/||** ボタンを押して再生します。

- このとき表示部の「PROG」が点滅から点灯に変わります。

□ 指定した曲順を変更する

1. 本機またはリモコンの**■**ボタンを押して、CDの再生を停止します。

2. リモコンの**プログラム**ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。

- このとき表示部の「PROG」が点滅しています。

3. 指定番号の曲を変更するには、まずリモコンの**プログラム**ボタンを何度か押して、変更したい指定番号を選びます。

4. 選んだ指定番号の曲を変更するには、リモコンの**◀/▶**または**▶/▶**ボタンを押して、新たに曲を指定します。

- 表示部には指定した新しい曲番号が表示されます。

5. 指定した曲を決定するには、リモコンの**プログラム**ボタンを押します。

□ 指定曲を追加する

1. 本機またはリモコンの**■**ボタンを押して、CDの再生を停止します。

2. リモコンの**プログラム**ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。

- このとき表示部の「PROG」が点滅しています。

- 事前に指定曲順が記憶されていると、指定番号は記憶されている次の新しい番号を表示します。

3. 指定曲を追加するには、リモコンの**◀/▶**または**▶/▶**ボタンを押して、新たに曲を指定します。

- 表示部には指定した曲番号が表示されます。

4. 指定した曲を決定するには、リモコンの**プログラム**ボタンを押します。

- 指定曲順の最後に新しい曲が追加されます。

□ 曲順指定の内容を削除する

1. リモコンの**プログラム**ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。

2. 曲順指定の内容を削除するには、本機またはリモコンの**■**ボタンを押します。

<その他の方法>

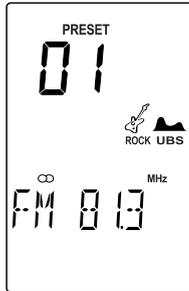
- CD停止状態のときに、ディスクポケットを開くと曲順指定の内容を削除します。

- 本機の**ON/OFF**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押して電源を切ると、曲順指定の内容を削除します。

ラジオを聴く

ラジオの基本操作

1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - このとき、本機はラジオ状態になります。
 - 電源が入ると、前回電源を切ったときの受信バンドと周波数が表示されます。



2. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、受信バンド(FM/AM)を選びます。
3. 選局(TUNING)+/-ボタンを押して、受信周波数を選びます。
 - AM放送をお聴きの場合、AMアンテナは本体に内蔵されているので、受信しやすい位置に本体を移動してください。
 - AM放送では、9kHzの周波数ステップで切り替わります。
 - FM放送をお聴きの場合、本体にあるFMアンテナを受信しやすい方向へのばしてください。
 - FM放送では、0.1MHzの周波数ステップで切り替わります。
 - FM放送では、ステレオ放送を受信しているときは、「∞」が表示され、ステレオ受信状態でモノラル信号を受信していると、「∞」が点滅します。

□ 放送局の自動選局

1. 「ラジオの基本操作」に従って、本機をラジオ状態にします。
2. 選局(TUNING)+/-ボタンを2秒以上押し続けて離すと、受信周波数を自動で選び始めます。
 - 周波数表示が連続で変わり始めます。(自動選局中)
 - 受信バンド帯域内を選局し、放送局を受信すると停止します。

□ FM放送局のステレオ/モノラル受信

FM放送でステレオ放送を受信しているときは、「∞」が表示されます。FMステレオ放送の電波が弱いとき、モノラル受信に切り替えると聴きやすくなります。

1. 「ラジオの基本操作」に従って、本機をラジオ状態にし、FM放送を受信します。

2. リモコンのFMモードボタンを押すと、モノラル受信に変わります。
 - このとき表示部の「∞」が消えます。
3. ステレオ受信に戻すには、リモコンのFMモードボタンをもう一度押します。
 - このとき表示部の「∞」が表示されます。

放送局を記憶(プリセット)させて聴く

本機は、FM/AMの放送局を最大40局まで記憶(プリセット)できます。放送局を記憶させる方法は、「自動記憶」と「手動記憶」の2つの方法があります。「自動記憶」は、FM放送の放送局だけを自動で選び記憶します。

□ 放送局の自動記憶(オートプリセット)

注意

- 事前に放送局を記憶した状態で「自動記憶」を行うと、記憶していた放送局が全て削除され、新しく選ばれた放送局が記憶されます。

1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。
2. リモコンのプログラムボタンを押し続けると、自動で放送局を選び記憶が始まります。
 - 周波数表示が連続で変わり放送局が記憶されると、プリセット番号(記憶させた放送局の番号)も次々に変わります。
 - 自動記憶が終わると、プリセット番号「01」に記憶された放送局を受信します。
 - このとき表示部は、8色の照明色が順次切り替わり、様々な機能の表示が表示されます。



- 通常のラジオ状態の表示に戻すには、リモコンの切替ボタンを押してください。

注意

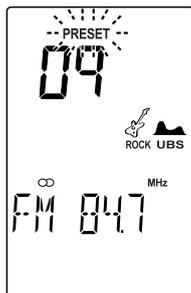
- 放送局の自動記憶を途中で停止したいときは、もう一度プログラムボタンを押してください。

□ 放送局の手動記憶(マニュアルプリセット)

注意

- 事前に放送局を記憶した状態で「自動記憶」を行うと、記憶していた放送局が全て削除され、新しく選ばれた放送局が記憶されます。

1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。
2. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、受信バンド(FM/AM)を選びます。
3. 選局+/−ボタンを押して、記憶したい受信周波数を選びます。
4. リモコンのプログラムボタンを押すと、受信周波数を記憶できる状態になります。
 - 表示部には、記憶されていないプリセット番号が表示され、「PRESET」が約10秒間点滅します。



注意

- 「PRESET」が点滅中に、次の操作を続けてください。ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的にラジオ状態に戻ります。
5. リモコンの◀◀/▶▶または▶▶/▶▶ボタンを押して、プリセット番号を指定します。
 - プリセット番号は「01」～「40」の中で選べます。

注意

- 事前に放送局が記憶されたプリセット番号を選ぶと、記憶していた放送局が削除され、新しく選んだ放送局が記憶されます。
6. 選んだプリセット番号に記憶するには、リモコンのプログラムボタンを押します。
 - このとき表示部は、点滅していた「PRESET」が点灯に変わり、記憶したプリセット番号を表示します。
 7. 手順 3 と 6 を繰り返して、他の放送局も手動で記憶してください。

□ 記憶した放送局を選ぶ

1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。
2. 記憶したプリセット番号を選ぶには、リモコンの◀◀/▶▶または▶▶/▶▶ボタンを押します。
 - プリセット番号を選んでいるときは、記憶されているプリセット番号だけが表示されます。

□ 記憶した放送局を削除する

注意

- プリセット番号「01」に記憶した放送局は削除できません。手動記憶の操作により記憶した放送局を変更することはできません。
 - 本機の電源コードを長い間抜いたままにすると、記憶した放送局は全て削除されます。
1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。
 2. リモコンの◀◀/▶▶または▶▶/▶▶ボタンを押して、削除するプリセット番号を選びます。
 3. プリセット番号の放送局を削除するには、■ボタンを2秒以上押します。

□ 放送局のワンタッチ受信

記憶したプリセット番号の中で「01」の放送局をワンタッチで呼び出し受信します。リモコンのFSMボタンを押すことで、プリセット番号「01」だけ呼び出すことができる機能です。

1. 本機またはリモコンのチューナーFM/AMボタンを押して、電源を入れます。
 - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。
2. 「放送局の手動記憶」に従って、お好みの放送局をプリセット番号「01」に記憶します。
3. 本機がラジオ状態のときに、リモコンのFSMボタンを押すと、プリセット番号「01」の放送局を受信します。

タイマーを使う

本機には、3つのタイマー設定があります。

● 目覚ましタイマー

設定した時間に本機の電源が入り、アラーム音、ラジオまたは音楽CDを鳴らして予定時間をお知らせする機能です。

● アラームタイマー

設定した残り時間(設定時から何分後)になると、アラーム音が鳴り、設定した時間が経過したことをお知らせする機能です。

● スリープタイマー

設定した残り時間(設定時から何分後)になると、本機の電源を自動で待機状態にする機能です。

注意

- タイマーを設定する場合は、本機の時計を合わせてください。(P.18)
- タイマー設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。

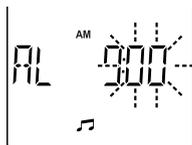
目覚ましタイマー

□ タイマーを設定する

1. 本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを切り、待機状態にします。
2. リモコンのイントロ/リピート/🎵ボタンを押し続けると、タイマーの「時」を設定する状態になります。
 - このとき「時」表示が点滅します。



3. リモコンの選局+/-ボタンを押してタイマーの「時」を設定します。設定した時間を決定するには、イントロ/リピート/🎵ボタンを押します。
 - 時間を決定したら、「分」表示が点滅します。



4. リモコンの選局+/-ボタンを押してタイマーの「分」を設定します。設定した時間を決定するには、イントロ/リピート/🎵ボタンを押します。

- 時間を決定したら、「BUZZER」、「CD」または「TUNER」が表示されます。目覚ましのアラームとして「BUZZER」、「CD」または「TUNER」の中から選んでください。



5. リモコンの選局+/-ボタンを押して「アラーム音」を設定します。

- 「CD」を選んだ場合は、あらかじめ本機にCDを入れておいてください。
- 「TUNER」を選んだ場合は、続けてリモコンの<</>>または>>/<<ボタンを押して、プリセット番号を選んでください。

6. 設定したアラーム音を決定するには、イントロ/リピート/🎵ボタンを押します。

- アラーム音を決定したら、「VOL」(最大音量設定)が表示されます。



7. リモコンの音量+/-ボタンを押して、アラームの最大音量を設定します。設定したアラーム音量を決定するには、イントロ/リピート/🎵ボタンを押します。

- アラーム音量を決定したら、目覚ましタイマーの設定は完了です。
- このとき表示部は時計表示に戻り、アラーム表示が表示されます。



- 設定した時間になると、本機の電源が入り、設定したアラーム音が最小音量から設定最大音量になるまで徐々に鳴らしてお知らせします。
- アラーム音は停止しない限り、設定時間から90分鳴り続けます。

□ タイマーを一時停止する

1. 目覚ましタイマーのアラーム音を一時停止するには、本機またはリモコンのスヌーズボタンを押します。
 - アラーム音を一時的に停止します。停止してから5分が過ぎると再びアラームが鳴ります。

□ タイマーを停止する(当日のみ)

1. 目覚ましタイマーのアラーム音を停止するには、本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します。
 - アラーム音を停止します。これは停止した当日のみ有効で、次の日は設定時間にアラーム音が鳴ります。

□ タイマーの週末(土、日)解除

1. 目覚ましタイマーのアラーム音を週末(土、日)だけ解除するには、リモコンのWECボタンを押します。
 - このとき表示部に「WEC」が表示されます。
 - 設定している目覚ましタイマーが週末(土、日)だけ無効になります。



2. 目覚ましタイマーを再び有効にするには、リモコンのWECボタンをもう一度押します。
 - このとき表示部の「WEC」が消えます。

□ タイマーの解除と設定

1. 目覚ましタイマーを完全に解除するには、待機状態でリモコンのイントロ/リピート/🔊ボタンを押します。
 - このとき表示部のアラーム表示が消えます。
 - タイマー解除されても、設定した目覚ましタイマーの内容は記憶されたままです。
2. 目覚ましタイマーを再び設定するには、リモコンのイントロ/リピート/🔊ボタンをもう一度押します。
 - このとき表示部にアラーム表示が表示されます。

アラームタイマー

□ タイマーを設定する

1. アラームタイマーを設定するには、リモコンのNAPボタンを押します。
 - このとき表示部に「NAP 10」が表示されます。



2. 続けてリモコンのNAPボタンを何度か押し、アラームタイマーの時間(何分後にアラームを鳴らすか)を設定します。
 - 設定時間は10分単位で、10分～120分まで設定できます。
 - 時間を設定すると、表示部に「NAP」が表示されます。



- 設定した時間になると、アラーム音が鳴り、表示部の「NAP」が点滅します。
- 設定したアラームタイマーの残り時間を確認するには、リモコンのNAPボタンを押すと残り時間を表示します。

□ タイマーを一時停止する

1. アラームタイマーを一時停止するには、本機またはリモコンのスヌーズボタンを押します。
 - アラーム音を一時的に停止します。停止してから5分が過ぎると再びアラームが鳴ります。

□ タイマーを停止する

1. アラームタイマーを停止するには、本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します。
 - アラーム音を停止します。

□ アラームが鳴る前にタイマーを停止

1. アラームが鳴る前にタイマーを停止するには、リモコンのNAPボタンを何度か押し、設定時間を「NAP 00」に設定します。

スリープタイマー

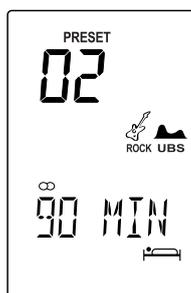
□ タイマーを設定する

注意

- スリープタイマーは、本機の電源が入っている状態で設定してください。

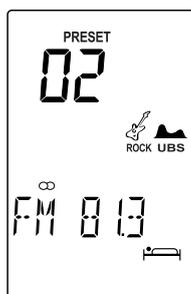
1. スリープタイマーを設定するには、本機またはリモコンのSLEEP(スリープ)ボタンを押します。

- このとき表示部に「90 MIN」と「



2. 続けて本機またはリモコンのSLEEP(スリープ)ボタンを何度か押し、スリープタイマーの時間(何分後に電源を切るか)を設定します。

- 設定時間は10分単位で、90分～10分まで設定できます。
- 時間を設定すると、表示部に「



- 設定した時間になると、本機は待機状態になります。
- 設定したスリープタイマーの残り時間を確認するには、本機またはリモコンのSLEEP(スリープ)ボタンを押すと残り時間を表示します。

□ 待機状態になる前にタイマーを解除

1. 待機状態になる前にスリープタイマーを解除するには、本機のON/OFFボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、待機状態にします。

または、本機またはリモコンのSLEEP(スリープ)ボタンを何度か押し、設定時間を「00 MIN」に設定します。

故障かな？と思ったら

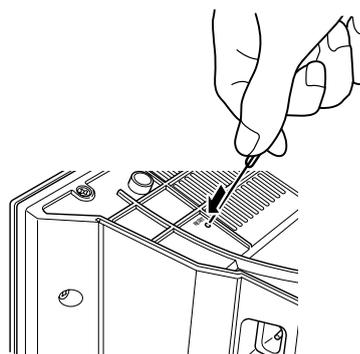
故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされていることがあります。下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの株式会社マランツコンシューマー マーケティング、または当社サービスセンターにご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが完全に差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを完全に差し込んでください。
音楽CDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの裏表が逆さまに入っている。 ディスクが汚れている。 ディスクが反ったり、傷がついている。 ディスクが完全に差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクレーベル面を上にして入れてください。 ディスクをクリーニングしてください。 再生できるディスクを入れてください。 ディスクを奥まで差し込んでください。
CD-Rが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにデータを書き込むソフトウェアに問題がある。 書き込んだディスク自体に問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> データを書き込むソフトウェアのコンポーネントを点検してください。 新しいディスクに書き込み直してください。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量設定が最小になっている。 ヘッドフォンが接続されている。 ミュート状態になっている。 一時停止状態になっている。 <p>外部入力状態(AUX)のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機器との接続が間違っている。 外部機器の電源が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な音量まで上げてください。 ヘッドフォンの接続を外してください。 ミュートを解除してください。 CD ▶/II ボタンを押し、再生してください。 再度確認し正しく接続し直してください。 外部機器の電源を入れてください。
音飛びがする。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが反ったり、傷がついている。 振動や衝撃の影響がある場所に本機を置いている。 ディスクが汚れたり、傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生できるディスクを入れてください。 安定した場所に本機を置いてください。 ディスクをクリーニングするか、再生できるディスクに入れ替えてください。
リモコンが効かない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの電池が切れている。 リモコンの動作範囲から外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池に入れ替えてください。 リモコンを本機に向けて操作してください。
ヘッドフォンまたは外部入力(AUX)で再生しない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドフォン端子とAUX端子を差し違えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度、端子を確認して接続し直してください。
ラジオの受信状態が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> 受信電波が弱い位置に設置している。 FMステレオ放送の受信が弱い。 テレビ、ビデオデッキ、コンピューター、ネオンライト、サーモスタット、モーターなど電気機器による電波干渉。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの配置を変更してください。 本機の受信をモノラルに切り替えてください。 これらの機器から離したところで使用してください。
操作ボタンを押しても本機が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> 静電気などの影響で誤動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を切り、数分してから再度電源を入れてください。または本機をリセットしてください。

□ 本機のリセット方法

本機をリセットすると、設定した時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。リセットすることで、本機は工場出荷の状態に戻ります。

1. 本機の電源を入れた状態にします。
2. ペーパークリップなどを使い、本機の底面にあるリセットボタンを押します。



仕様

アンプ部

□ 出力

- 正弦波出力2 x 3 W (L・R出力)
.....1 x 6 W (ウーファー出力)
- ミュージックパワー2 x 5 W (L・R出力)
.....1 x 10 W (ウーファー出力)
- 入力感度/インピーダンス.....Aux 400 mV/22k Ω

チューナー部

□ 受信範囲

- FM76~90 MHz
- AM522~1629 kHz

CD部

- 周波数レスポンス20 Hz~20 kHz
- S/N比(wtd.) > 70dB
- オーバーサンプリング8 倍

システム部

□ 電源

- 動作電圧AC 100 V、50/60 Hz
- 最大消費電力35 W
- 待機状態の消費電力2 W以下

□ 寸法と重量

- 寸法313 x 180 x 190 mm (幅x高さx奥行き)
- 重量3.3 kg

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お手入れについて

本機が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍にうすめ、柔らかい布に浸し、固く絞って汚れをふき取り、後に乾いた布でからぶきしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のもので付着すると塗装が剥げたり、光沢が失われることがありますから、絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。

ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障した場合には、お買い上げ販売店、または当社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障かな?と思ったときは」をご参照の上よくお調べください。

ご連絡いただきたい内容

- 1) 品名 パーソナルCDシステム
- 2) 品番 CR101
- 3) お買い上げ日 年 月 日
- 4) 故障の状況(できるだけ具体的に)
- 5) ご住所
- 6) お名前
- 7) 電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.jp>